



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月7日  
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス  
コード番号 4732 URL http://www.ussnet.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129  
四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	17,638	6.4	8,639	6.3	8,776	6.1	5,995	5.5
29年3月期第1四半期	16,584	△2.5	8,130	△5.7	8,273	△5.9	5,684	△1.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 6,009百万円 (5.6%) 29年3月期第1四半期 5,691百万円 (△2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	23.60	23.56
29年3月期第1四半期	22.21	22.18

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	192,991	159,349	81.9
29年3月期	197,374	159,197	80.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 158,128百万円 29年3月期 158,029百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	23.20	—	23.20	46.40
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	23.50	—	23.50	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,700	4.2	16,150	4.3	16,400	3.8	11,250	3.8	44.29
通期	68,800	2.4	33,400	3.1	33,900	2.7	23,200	1.3	91.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	313,250,000株	29年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	59,244,984株	29年3月期	59,272,884株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	253,990,016株	29年3月期1Q	255,846,591株

(注) 平成30年3月期1Qの期末自己株式数には347,100株、平成29年3月期の期末自己株式数には373,800株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は平成29年8月7日(月)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、登録車の新車登録台数が777千台（前年同期比7.4%増）、軽自動車の新車登録台数は427千台（前年同期比21.0%増）、新車登録台数全体では1,204千台（前年同期比11.8%増）と新車販売は好調に推移しました。

また、中古車登録台数も、登録車は942千台（前年同期比4.1%増）、軽自動車は727千台（前年同期比3.1%増）、中古車登録台数全体では1,670千台（前年同期比3.7%増）と前年同期実績を上回る結果となりました。

（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

中古車輸出市場は、主な仕向地であるアフリカ諸国やパキスタン、ロシア向けの輸出台数が増加したことなどから輸出台数は342千台（前年同期比9.1%増）となりました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場は、好調な新車販売を受け、新車買い替え時の下取り車が増加したことなどから、出品台数は1,991千台（前年同期比8.9%増）、成約台数は1,210千台（前年同期比8.0%増）、成約率は60.8%（前年同期実績61.3%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高17,638百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益8,639百万円（前年同期比6.3%増）、経常利益8,776百万円（前年同期比6.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,995百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

### オートオークション

当第1四半期連結累計期間におけるU S Sグループは、名古屋会場をはじめとして多くの会場で取扱台数が増加し、出品台数は636千台（前年同期比7.3%増）、成約台数は393千台（前年同期比4.4%増）、成約率は61.8%（前年同期実績63.5%）となりました。

収益面では、成約率が低下したものの、出品および成約の台数がそれぞれ増加したことから売上高が増加したのに対し、営業費用は、オークション会場の設備投資に伴い減価償却費が増加し、業務委託費なども増加しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高13,898百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益8,414百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

### 中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、台当たり粗利益が減少したことなどから減収減益となりました。事故現状車買取販売事業は、単価の高い車両の取扱いが増加したものの、取扱台数が減少したことなどから営業損失となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高2,294百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益39百万円（前年同期比39.3%減）となりました。

### その他

廃自動車等のリサイクル事業は、廃自動車の取扱量が増加したことに加え、金属スクラップ相場が前年を上回って推移したことなどから、増収増益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、陸送収入が増加したことなどから、増収増益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高1,445百万円（前年同期比17.7%増）、営業利益159百万円（前年同期比116.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は192,991百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,383百万円減少しました。これは、有形固定資産が1,216百万円増加した一方で、現金及び預金が5,315百万円、オークション貸勘定が625百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は33,641百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,535百万円減少しました。これは、未払法人税等が2,315百万円減少したほか、未払金などの減少により流動負債のその他が2,280百万円減少したことなどによるものです。

純資産合計は159,349百万円となり、前連結会計年度末と比較して152百万円増加しました。これは、利益剰余金が94百万円増加したことなどによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して13,684百万円増加し、61,563百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,532百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8,779百万円（前年同期比6.5%増）、減価償却費及びその他の償却費1,154百万円（前年同期比16.4%増）、法人税等の支払額4,793百万円（前年同期比8.9%減）、未払金の減少額1,329百万円（前年同期実績 増加額242百万円）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は16,168百万円となりました。これは主に、預け入れ期間が3か月を超える定期預金の純減少額19,000百万円（前年同期実績 純増加額7,480百万円）、札幌会場の新築建て替えなどの有形固定資産の取得による支出2,708百万円（前年同期比27.2%増）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は6,016百万円となりました。これは主に、配当金の支払額5,900百万円（前年同期比11.8%増）などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（平成29年5月11日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	74,778	69,463
オークション貸勘定	11,668	11,043
受取手形及び売掛金	2,605	2,445
たな卸資産	751	623
その他	1,697	2,407
貸倒引当金	△38	△33
流動資産合計	91,462	85,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,979	37,182
土地	56,911	56,911
建設仮勘定	342	227
その他(純額)	3,635	3,762
有形固定資産合計	96,868	98,084
無形固定資産		
のれん	313	292
その他	1,537	1,563
無形固定資産合計	1,850	1,855
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,682	7,588
貸倒引当金	△490	△486
投資その他の資産合計	7,192	7,101
固定資産合計	105,911	107,041
資産合計	197,374	192,991
<b>負債の部</b>		
流動負債		
オークション借勘定	15,051	14,886
支払手形及び買掛金	372	338
短期借入金	30	—
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	5,108	2,792
引当金	632	939
その他	7,385	5,104
流動負債合計	28,801	24,282
固定負債		
長期借入金	3,820	3,765
退職給付に係る負債	368	399
資産除去債務	373	374
その他	4,813	4,820
固定負債合計	9,375	9,359
負債合計	38,176	33,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,913	18,913
利益剰余金	173,488	173,583
自己株式	△47,602	△47,549
株主資本合計	163,681	163,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	△2
土地再評価差額金	△5,694	△5,694
退職給付に係る調整累計額	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△5,652	△5,700
新株予約権	306	373
非支配株主持分	861	847
純資産合計	159,197	159,349
負債純資産合計	197,374	192,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	16,584	17,638
売上原価	6,422	6,957
売上総利益	10,162	10,681
販売費及び一般管理費	2,031	2,041
営業利益	8,130	8,639
営業外収益		
受取利息	8	5
不動産賃貸料	117	103
雑収入	37	43
営業外収益合計	163	152
営業外費用		
支払利息	0	2
不動産賃貸原価	16	11
雑損失	3	1
営業外費用合計	20	15
経常利益	8,273	8,776
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	0	77
特別利益合計	2	79
特別損失		
固定資産除却損	8	76
減損損失	21	—
その他	1	—
特別損失合計	32	76
税金等調整前四半期純利益	8,243	8,779
法人税等	2,519	2,721
四半期純利益	5,723	6,057
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	61
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,684	5,995

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	5,723	6,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△48
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△31	△48
四半期包括利益	5,691	6,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,653	5,947
非支配株主に係る四半期包括利益	38	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,243	8,779
減価償却費及びその他の償却費	991	1,154
減損損失	21	—
のれん償却額	20	20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	320	307
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	29	30
受取利息及び受取配当金	△8	△5
支払利息	0	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△77
有形固定資産除売却損益 (△は益)	7	74
オークション勘定の増減額	△531	460
売上債権の増減額 (△は増加)	249	159
仕入債務の増減額 (△は減少)	△69	△34
未払金の増減額 (△は減少)	242	△1,329
預り金の増減額 (△は減少)	△891	△564
その他	△383	△659
小計	8,240	8,307
利息及び配当金の受取額	25	20
利息の支払額	△0	△2
法人税等の支払額	△5,260	△4,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,004	3,532
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△7,480	19,000
有価証券の償還による収入	3,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,129	△2,708
有形固定資産の売却による収入	1	3
無形固定資産の取得による支出	△305	△155
投資有価証券の売却による収入	8	86
その他	△24	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,929	16,168
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	△30
長期借入金の返済による支出	△40	△55
預り保証金の預りによる収入	38	28
預り保証金の返還による支出	△29	△25
自己株式の取得による支出	△7,367	—
自己株式の売却による収入	40	42
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は増加)	669	—
配当金の支払額	△5,277	△5,900
非支配株主への配当金の支払額	—	△75
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△29	△0
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,027	△6,016
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,952	13,684
現金及び現金同等物の期首残高	37,370	47,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,418	61,563

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,104	2,250	15,355	1,228	16,584	—	16,584
セグメント間の 内部売上高または 振替高	113	—	113	2	116	△116	—
計	13,218	2,250	15,469	1,230	16,700	△116	16,584
セグメント利益	7,936	65	8,002	73	8,075	55	8,130

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額55百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,898	2,294	16,193	1,445	17,638	—	17,638
セグメント間の内部売上高または振替高	150	—	150	4	154	△154	—
計	14,048	2,294	16,343	1,450	17,793	△154	17,638
セグメント利益	8,414	39	8,454	159	8,613	25	8,639

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビツの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額25百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	29年3月期	30年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	165	176	6.4	688
営業利益	81	86	6.3	334
経常利益	82	87	6.1	339
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	56	59	5.5	232

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	29年3月期	30年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	31	33	6.0	127
成約手数料	29	31	6.2	122
落札手数料	44	46	4.9	182
バイクオークション手数料	1	1	△9.0	6
商品売上高	4	5	18.9	15
その他の営業収入	19	20	7.2	83
オートオークション計	131	138	6.1	537
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	14	13	△3.6	58
事故現状車買取販売	8	9	11.5	36
中古自動車等買取販売計	22	22	1.9	94
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	10	13	18.8	50
中古自動車の輸出手続	1	1	7.4	4
代行サービス	0	0	15.6	0
その他	0	0	15.6	0
その他計	12	14	17.7	55
合計	165	176	6.4	688

(注) バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	29年3月期	30年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	24	28	17.6	51
完工ベース	20	25	21.6	55
減価償却費	9	11	16.6	46